

2026年（令和8年）

午年がさらなる「飛躍」の年となりますように…

壬生川地区人口11月末現在

壬生川公民館だより 1月

(前月比)
男 性 2,184 人 (-7)
女 性 2,342 人 (-2)
(合計) 4,526 人 (-9)
世帯数 2,238 戸 (-9)

〒799-1341 西条市壬生川 200 番地
TEL・FAX 0898-64-2202
E-mail nyugawa-k@saijo-city.jp

カラー版は市のホームページ
に掲載しています。こちらから →



「凧づくり教室」で作った凧を
壬生川小学校の運動場で揚げました。
絶好の凧揚げ日和!風に乗って空高く揚がる凧
子どもたちの歓声が響き渡りました。



新春のお慶びを
申し上げます

旧年中は、公民館事業・活動に
一方向なご支援・ご協力を賜り
誠にありがとうございました。
本年も地域の皆様方と共に
活力ある地域づくりの尽力いたしたい
と思っております。ご協力のほど
よろしくお願い申し上げます。
皆様にとりまして
素晴らしいよき年となりますよう
心よりお祈り申し上げます。
壬生川公民館職員一同

11月30日(日)、今年も「東予凧の会」の
方々に、本格的な和凧の作り方を教えていた
だきました。干支の午や、好きなキャラクター
の絵を描いた個性あふれる凧が完成しました。



出来上がりが楽しみ♪



親子で力を合わせて…



力作が勢揃い!上手にできました!



凧の揚げ方もしっかり伝授

【1月のごみ収集日】 当日の 朝8時まで 決められた場所へ

◆古 紙（新聞紙・ダンボール・雑誌・雑がみ）7日（第1水曜日）

◆ガラスびん・ペットボトル
スプレー缶・カセット式ガスボンベ・・・14日（第2水曜日）

※壬生川公民館で行っている資源ごみ等の拠点回収は
12月26日（金）閉館から1月5日（月）開館までご利用できません。

お気をつけください!

12月31日（水）から
1月4日（日）まで
ごみ収集はお休みです。次回の
収集日にお出してください。
ごみ収集の休みを周知するチ
ラシを公民館に準備しています。
1月以降、旧指定ごみ袋で出
されたごみは回収されません。

1月の主な行事予定

日	曜	行 事
1	木	休館日 元日
2	金	休館日
3	土	休館日
4	日	休館日
7	水	古紙 収集日
10	土	休館日 放課後子ども教室 [運動] (壬生川小学校)
11	日	休館日
12	月	休館日 成人の日
14	水	ガラスびん・ペットボトル・スプレー缶等収集日
15	木	第3回公民館協力委員会 19:00~
17	土	休館日・放課後子ども教室 [茶 道]
18	日	休館日
21	水	壬生川カフェ（高齢者カフェ） 10:30~
24	土	休館日・放課後子ども教室 [ボードゲーム]
25	日	休館日
31	土	休館日・放課後子ども教室 [AGO であそぼ]

公民館年末大掃除のお礼

12月14日(日)、公民館サークルや、ご利用団体、
公民館協力委員など、多くの皆様のご協力で、普段、
手の届かない所まできれいにしていただき、ありが
とうございました。
お蔭様で気持ちのよい新年を迎えることができま
した。心より感謝申し上げます。

西条市社会福祉協議会壬生川支部 より

令和7年度 共同募金の報告

地域の皆様のご協力により、温かい心のこもった募金が寄せられました。活動にご理解をいただきました自治会長、広
報委員、法人及び各種機関・団体、ボランティアの皆様にお礼申し上げます。お寄せいただいた募金額は次のとおりです。

(1) 共同募金（赤い羽根）実績

◆戸別募金（一世帯400円）	1,140件	456,000円
◆法人募金・団体	45件	176,000円
◆イベント募金・その他	2件	15,046円
合 計	1,187件	647,046円
（目標額：849,000円 達成率：76.21%）		

(2) 歳末たすけあい募金実績

●個別募金額（一世帯100円）
◆件 数 1,140件
◆金 額 114,000円

（募金額 令和7年12月9日時点）

○共同募金 寄付者○

◇法人・団体等（敬称略【順不同】）… 45件

●フジボウ愛媛(株) ●フジワラ化学(株) ●(株)タツノコ ●高田勝人税理士事務所 ●(有)大岩自動車工場 ●(株)榊田屋商店
●平安祭典 ●愛媛県漁業協同組合壬生川支所 ●(株)秋山魚市場 ●森山内科 ●芸予産業(株) ●一色自動車工業
●情熱工務店 ●(有)宇佐美組 ●古味歯科医院 ●晴海自動車 ●デイサービスセンター東予 ●喜左衛門 ●天神丸石材(有)
●ローソン東予壬生川店 ●(有)武方自動車 ●そがめ薬局壬生川店 ●あかり調剤薬局 ●珈琲泉人珈泉 ●ハローズ東予店
●ファミリーマート西条円海寺店
●壬生川地区民生児童委員協議会 ●更生保護女性会 ●壬生川婦人会 ●壬生川母子寡婦福祉会 ●障害者団体連合会
●壬生川連合自治会 ●壬生川単位老人クラブ（7クラブ） ●見守り推進員団体 ●高齢者体操クラブ（5クラブ）

○共同募金及び歳末たすけあい募金寄付者○

◇自治会 … 43自治会（1,140件）

講座・教室等のご案内

高齢者の方をはじめ地域の誰もが気軽
に立ち寄り話し合いができる「つどいの会」

『壬生川カフェ』にお越しください!

予約の必要はありません。お気軽にご参加ください。

- 日 時：1月21日(水) 10時30分~
- 場 所：壬生川公民館 1階 学習室3他
- 持参物：水分補給用の飲み物
- 内 容：脳トレプリント・レクリエーション等
- 問合せ：西条市地域包括支援センター東予 TEL 66-5520



9/17「ゲーム」

毎回、笑い声が
あふれていて、楽
しそうです。



10/15「脳トレ」難問に挑戦



11/19「手遊び歌」♪

令和7年度		
壬生川小学校・地域合同運動会 盆踊り 文化祭		
収 支 決 算 報 告		
【収入の部】 (単位：円)		
項 目	決 算 額	備 考
一般募金	673,000	1,346 戸
大口募金	338,000	74 件
市補助金	72,500	西条市
売 上	66,480	盆踊り・文化祭
雑 収 入	1,218	貯金利息
合 計	1,151,198	
【支出の部】 (単位：円)		
項 目	決 算 額	備 考
消耗品費	377,463	参加賞・折込料等
印 刷 費	59,400	プログラム印刷
賞品(一般用)	454,849	プログラム抽選賞品等
賞品(児童用)	15,000	図書券
合 計	906,712	
(収入の部)	(支出の部)	(次年度繰越金)
1,151,198	— 906,712	= 244,486
尚、令和7年12月5日(金)、壬生川公民館において、監事2名による監査を受け、承認していただいたことを併せてご報告いたします。		
各種行事開催にあたり、募金協力いただいた地域の方々、準備や当日の運営、後片付けに携わっていただいた地域の方々に厚くお礼申し上げます。		

山紅葉城下町への九十九折

やまもみじじようかまち

遠き日はないちもんめ鰯雲

とほひ

擦れ違ふ人に土の香初しぐれ

すちがひとつち

河豚刺し崩す皿の紋様なぞること

ふぐさくす

わが余生丸ごと俳句文化の日

よせいまる

ひうち句会

(順不同)

稲井卓機

石原宏子

岡部和代

丸山英子

矢野悦子

「放課後子ども教室」

11/15「お菓子作り」

豆腐を使って簡単なパンを作りました。



11/22「けん玉」

いろいろな技に次々チャレンジ！すぐにコツをつかんで大成功！お見事です。



11/29「工作」

個性的なミニクリスマスツリーが出来上がりました。



12/6「運動」

寒い体育館を縦横無尽に走り回る子どもたち。元気いっぱい！



祝

壬生川小学校創立150周年



11月16日(日)、壬生川小学校で、「創立150周年記念行事」が開催されました。本物そっくりの鉄道模型も展示され、盛大な式典となりました。

150年を振り返る懐かしい映像や、児童の発表を、歴代の校長先生や、卒業生、地域の方々と鑑賞しました。最後に、来場者全員で校歌を斉唱し、記念すべき節目をお祝いしました。



コーラス部の美しい歌声



間近で見る鉄道模型に興味津々

～毎月10日は人権を考える日～

自分事と差別意識（「人権問題に関する市民意識調査」より）

（問25）家を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶとき、価格や立地条件などが希望通りであっても、被差別部落の地域内の条件の場合、避けることがありますか。（「令和6年度人権問題に関する意識調査」から）

ア まったく気にしない

216人 28%

イ どちらかといえば避けたい

117人 16%

ウ どちらかといえば避ける

170人 22%

エ 避けると思う

61人 8%

オ わからない

18人 25%

右記の結果は、「土地差別」についてのものです。44%の方が「まったく気にしない」または「どちらかといえば避けたい」と回答しています。また、22%の方が「どちらかといえば避ける」と回答しています。

差別は「する側」の問題であり、差別をする人がいなければ、差別は起きないのです。しかし、差別をすることに対していろいろな理由をつけて、「差別することはいけないけれど仕方がない」とか「〇〇なので、差別する」といったことが言われることがあります。これを、「差別を正当化する」と言います。

本来「差別をする理由」など全くないのです。それでも、「〇〇は、昔から〇〇とされているから」と理由をつけるのです。「それ、本当ですか？」と尋ねると、正しく答えられないのです。なぜなら、すべて「根拠がないこと」、すべて「偏見」であること、すべて「事実でないこと」で、伝えられてきたこと」などを、正しいと考えている場合がほとんどだと思います。

偏見：あるものに対する偏ったものの見方や考え方。この見方や考え方に「嫌い」「不安」「敵意」「軽蔑」といった感情が加わる。

偏見をなくすためにはどうすればいいのでしょうか。

まず、自分を冷静にしかも客観的に振り返り、他人事ではなく自分事として受け止める（または、「相手と自分をおき換え頭の中で想像してみる）ことが大切です。そして、自分の中に差別する意識（心）があることを認めることにより、すべて「偏見」「根拠のないこと」「事実でないこと」であることが分かってくると思います。

そんなことで、人を差別したり、人の心を傷つけたりしているとわかってくるでしょう。

講演会では、講師の先生が、自分が被差別部落出身であることを告げうえて、自らが受けた差別についてしっかりと口調で語っていました。それはわたしの予想していた内容とは全く違うものでした。

（中略）

講師の先生の話にすっかり引き込まれたわたしは「すごいなあ」と憧れのような感情を抱いていました。すると講師の先生が「ぼくのふるさとをすてきなあって思ってくれた人？」と言うのでわたしは迷わず手を挙げ周りを見ると、多くの人が同じように感じていたのです。すると講師の先生が言うのです。「じゃあ、ぼくのふるさとに住んでみる？」。わたしは頭の中が真っ白になり、何も考えられずにいると、講師の先生は優しくゆっくりと語り始めました。「みんなが、結婚差別に怒りを覚えたり、ぼくのふるさとをすてきだと感じてくれたことは本当にうれしい。でも、自分が住むってなった瞬間、自分事として考えたんだよね。大事なのは、ここだよ」と、胸に手を当てるのですでした。

引用元：（シリーズじんけん No.531「自分の中にある差別心」 大分市人権教育推進課 より抜粋）

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課

第5回 さわやか人生大学



11月28日(金)、壬生川公民館のサークルでも指導されている戒田厚子氏を講師に「初めてでも安心♡ヨガ教室」を開催しました。

参加者で会場の2階大ホールは埋め尽くされ、健康意識の高さをうかがい知ることができました。







「身体がスッキリした。」「心身ともにリフレッシュできた。」と、大好評。最後に講師より「ぜひ継続してください。」と…。継続は力なり！